

まちの美しさ



深谷市長 新井家光

街路樹の緑がいよいよ濃く、鮮やかに映えてきました。冬の間、蓄えていた鋭気を一気に絞り出す。四季の変化に富んだ日本の初夏、草木は待ちきれんばかりに勢いよく若葉を披露します。

そんな日本の樹木、特に植木に興味をそそられ来日した人がいました。激動の幕末、日本を訪れた英国の園芸学者ロバート・フォーチュンです。彼は、日本の植物を世界の人達に知ってもらおうと日本にやってきました。緑溢れる江戸のまちを支えた世界最大の植木の村染井や植木市で有名な団子坂に興奮し、幕末の日本を満喫したと彼の著書『幕末日本探訪記』に記されています。

実は、彼が日本に興味を持ったことが、もう一つありました。それは、日本のまちの美しさです。「まち並みの美しさは世界のどの都市も及ばない」。フォーチュンは先の著書で触れています。

実際の幕末に日本を訪れた欧米人のほとんどは、日本のまち並みの清潔さに驚嘆しています。当時の日本は徹底した循環型社会で、糞尿や焼灰は高価な肥料となり、「下駄の歯入屋」、「瀬戸物の焼継屋」といった再生業者や「紙屑屋」、「古着屋」など回収業者がいて、せっせと再生していったそうです。また、同時期のロンドンやパリでは、河川に糞尿を垂れ流し、たびたびコレラが発生していたのとは比べ、日本では溝浚い、道路清掃の町触（町の住民に発せられた法令）が頻繁に出されていました。どうしてそこまで？と疑問に感じたとき、きれいなまちを維持していた江戸の人達の心を探るヒントがありました。

前述したロバート・フォーチュンは日本人の花を愛する国民性にも言及しています。「日本人は、軒先の小庭で好きな花を育て、それを無上の楽しみにしている。もし、この花を愛する国民性が、人間の文化生活の高さを証明するものとするれば、イギリス人に比べずっと優れている」と著しています。「美しいまち並み」と「花を愛する国民性」は、何か相通じるものがあると感じませんか。

夏立ちぬ いつもそよげる 樹の若葉
ひの 草城
日野

「沈思黙考」ワンポイント解説

春の「ゴミゼロ運動」を実施します

「ごみのない住み良いまちづくり」を目指し、市内全域で「春のゴミゼロ運動」を実施します。市民・市内事業所の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

【とき】 5月31日(日)午前8時～(雨天決行・前日と当日の朝、防災無線で放送します)

【ごみの種類と収集区域】 道路や河川、住宅周辺に落ちている空き缶・空き瓶・紙くずなどのごみおよび不法投棄物

【収集場所と回収】 空き缶・空き瓶は配布されたビニール袋に分別して収集し、不法投棄物もその日のうちに各自治会で指定された場所に集めてください。回収は翌日に市で行います。紙くずなどのごみは翌日の朝8時30分までに、通常のごみ収集所に出してください。

問い合わせ 環境課 (☎ 574-8572) へ

成人が歯を失う最大の原因は歯周疾患です。生涯食べ物を自分の歯でかむことができるよう、検診を受けましょう。

① 歯周疾患 (節目) 検診

対象 市内在住で平成22年3月31日までに、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳に達する方

検診期間 7月～12月

申し込み 6月1日(月)～30日(火) (土・日曜日を除く、午前9時～午後5時)までに、電話または直接、深谷市保健センターへ

※検診期間以外は、受診できません。

② 妊婦歯科検診

対象 市内在住の妊婦

検診期間 受診票交付日から当該出産日まで

申し込み 随時、電話または直接、深谷市保健センターへ

※検診は、安定期で体調がよいときに受診してください。

①・② 共通事項

検診内容 問診、歯と歯肉の検査、検査結果に応じた保健指導

検診費用 無料

※検診の結果、治療が必要な場合は改めて治療の予約が必要です。なお、この場合、通常の保険診療となり自己負担金が掛かります。

始まります！ 歯周疾患 (節目) 検診 妊婦歯科検診

問い合わせ
深谷市保健センター (☎ 575-1101)
岡部福祉健康課 (☎ 585-2214)
川本福祉健康課 (☎ 583-2532)
花園福祉健康課 (☎ 584-1123)

歯周疾患 (節目) 検診 妊婦歯科検診 申し込み方法

- 希望者が申し込み**
対象要件を満たし、受診を希望するかたは、電話または直接、深谷市保健センターへお申し込みください。
- 申込者に受診票を郵送**
申込後、市から「受診票」と「実施歯科医療機関一覧」が、ご自宅に郵送されます。
- 歯科医療機関へ予約後に受診**
「実施歯科医療機関一覧」の中から受診する歯科医療機関を選び、直接電話で予約をしてください。

※検診は、検診期間中1回に限り受診できます。なお、歯科治療中のかたは検診を受けられません。

全身の健康は、歯と口の健康から！

自分の歯が20本以上あると、ほとんどの食品が支障なく食べられるといわれています。

生涯にわたって自分の歯を20本以上保つことを目指しましょう。

1人平均現在歯数

	40代	50代	60代	70代
女	27.4	25.1	21	15
男	27.6	24.4	21.7	15.3
総数	27.5	24.8	21.3	15.2

平成17年度歯科疾患実態調査 (厚労省)

「関連企画」 虫歯・歯周病予防イベントを開催！

とき 6月7日(日)午前9時30分～11時45分
ところ 深谷市保健センター

対象 ① 幼児の部 市内在住の2歳以上就学前のお子さん (保護者同伴)
② 成人の部 20歳以上 定員

① 幼児の部 先着250人
② 成人の部 先着200人

内容 口腔診査、歯科相談、虫歯、歯周病予防のお話、ブラッシング指導、フッ素塗布 (幼児のみ) 必要な物 歯ブラシ、タオル、コップ

参加料 無料
申し込み 5月20日(水) 午前9時から、電話で深谷市保健センターへ